

令和3年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題  
(現職教員選抜後期募集)

「小論文」

高度教職実践専攻 高度教職実践専修

問 題

保護者や地域住民等が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する新しいタイプの学校「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会を設置する学校)は、2004(平成16)年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律(地教行法)の改正により、教育委員会の判断によって学校運営協議会を置くことができるように制度化された。

また、2015(平成27)年の中央教育審議会答申「新しい時代や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」を受けて、2017(平成29)年、地教行法の一部改正により、教育委員会による学校運営協議会の設置が努力義務となり、2019(令和元)年5月現在、全国で7,601校(全国の学校の21.3%)がコミュニティ・スクールの導入している。

このことにより、学校と地域の在り方は、これまで推進してきた「開かれた学校」から、地域の人々と教育活動の目標やビジョンを共有し、地域に開かれた教育課程を編成し、学校と地域が一体となり、子どもたちを育てていく「地域とともにある学校」の創造が求められている。

そこで、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の理念が目指す「これからの学校と地域との在り方」について、コミュニティ・スクールの意義や機能、しくみを踏まえて述べなさい。

また、現任校での教育活動において、「学校運営協議会と連動し、学校と地域の連携、協働を図る取組をどのように推進しているか(または、構築したり、検討したりできるか)」を具体的に述べなさい。

さらに、目標やビジョンを共有し、コミュニティ・スクールの理念である「『地域とともにある学校』をつくるために、どのような取組が現任校(校区の地域を含む)において必要と考えるか」を具体的に述べなさい。

以上、3点について、合わせて1200字以上1500字以内で答えなさい。

なお、試験終了後、解答用紙(2枚)のみ提出すること。

(配点200点)

令和3年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験解答用紙  
(現職教員選抜後期募集)

「小論文」(1/2)

高度教職実践専攻 高度教職実践専修	得点	点
受験番号( )		

10 20 30

10

20

25

「小論文」(2/2)

高度教職実践専攻 高度教職実践専修

得点 点

受験番号( )

10

20

30

30

40

50



